

2009-10-1

ふじさわ・九条の会ニュース



NO18

発行人 ふじさわ九条の会 事務局長 斎藤隆夫 0466-35-7104

Eメール fujisawa9jo@infoseek.jp HP <http://fujisawa9jo.infoseek.co.jp/>

ふじさわ・九条の会秋の学習会 山田朗明大教授が講演

「九条を持つ国がすべきことは？」



9月19日、藤沢市民会館で「ふじさわ・九条の会」が明治大学山田朗教授をお招きして秋の学習会を行いました。参加者は、会員を中心

に73名でした。

山田教授は、田母神論文、ソマリア派兵、北朝鮮ミサイル問題から見えてくる自衛隊の危険な変貌の実態について話されました。

①、田母神論文ねらいは、現在の自衛隊はシリアンコントロールの下で身動き出来ない、自衛隊の本格的軍隊化を求める政治的意図にある。専守防衛から集団的自衛権の名のもとに海外遠征出来る軍隊になりたい、そのために、旧軍を美化し、

自衛隊が旧軍の伝統を引継ぎたいとの願望の下に執筆されている、と山田教授は指摘。

②、ソマリア派兵問題は、海賊対策としては必要以上の破壊力の大きい装備をもった汎用護衛艦「さざみ」「さみだれ」やP3C対潜哨戒機等を派遣し、強力な軍隊の海外派兵の実績を作ろうとしていること、更にジブチとの間に基地借用協定まで結んだことは、我国が戦後初めて海外基地を持つ協定であり、自衛隊の危険な変貌が伺える。

③、北朝鮮の核開発・ミサイル問題については、核軍縮交渉、6カ国協議等による平和交渉ではなく弾道ミサイル防衛と日米共同による海外派兵、敵基地攻撃能力の構築という好戦的な自衛隊強化が計られようとしている、と指摘。

こうした自衛隊強化の動きに対し、山田教授は④、名古屋高裁の違憲判決の意義について、名古屋高裁判決は、i、陸上自衛隊のイラクでの活動は他国の武力行使と一体化した行動であり憲法9条1項違反であること、ii、航空自衛隊の輸送活動についても、現代戦に於いては補給活動も戦闘行為の重要な要素であり憲法9条違反であると認定したことの重要性について強調されました。

⑤、山田教授の講演の後、質疑討論が行われ、6名の方から発言がありました。

・日本の防衛は、自衛隊＝軍備に頼るのではなく、憲法9条の精神に従って平和外交をすすめる事が大切ではないか

・自衛隊がますます軍隊化していく危険性を若い人にどのように9条の意義と共に伝えたら良いか等々について発言がありました。(小林)

政治の流れを変えた 8月の衆議院選挙 改憲派議員、大量落選

8月30日投票が行われた衆議院選挙は、これまで与党であった自民党・公明党が大きく敗退し民主党が300を越える議席を得て、鳩山内閣が発足しました。戦後60年以上続いた自民党政権が倒れたという事は、日本の戦後政治にとって、画期的な出来事と言えます。

我々九条の会にとって、今度の選挙で憲法改正問題がどのように進むか注目されるのですが、憲法改正を掲げる改憲派の議員組織「新憲法制定議員同盟」所属の議員が大量落選し、選挙前の衆議院では139名いた改憲派議員が53名に激減したことは、我々にとって好ましい結果であったと言えることが出来ます。

この結果、憲法改正を目指す国会の「憲法審査会」の委員選任を衆議院では見送る事になり、始動出来ない状況となりました。

ふじさわ・九条の会 タウンニュースに意見広告

今回の衆議院選挙に当たり、ふじさわ・九条の会ではタウンニュースに下記のような意見広告を掲載しました。選挙の結果は、こうした意見広告が一定に効果があったものと思われれます。



意見広告

**日本は60年間
戦争をしなかつた国！**

それは憲法九条を支えてきた国民の力で

今、私たちの暮らしをめぐって雇用や年金や福祉などに関心が向けられています。しかし実は憲法改正もこれからの日本の進路を決める大きな問題なのです。

すなわち、北朝鮮への対応、ソマリア沖やインド洋への自衛隊派遣、集団的自衛権の行使などは憲法改正に関わる問題で、日本は今

国会や財界の中には、自衛隊を正式な軍隊にしよ

う、日本も核武装が必要だ、非核三原則（核兵器を持たず、作らず、持ち込ませず）

を認めよう、武器輸出を解禁しようなどという意見もあります。こうした考えは明らかに「戦争放棄」「戦力不保持」「交戦権否認」を明言している憲法九条に反するものです。

恒久平和を掲げる憲法前文と九条は、時代にも世界にも先駆けて人類の進むべき道を示したわが国の誇るべき宝です。私たちは子どもたちの未来のためにもこの宝を守りきりましょう。憲法九条を守る為に国民の力を発揮しましょう。



「ふじさわ
九条の会」
☎0466-35-7104

藤沢市でも、 教科書が危ない！ 新教育長・新教育委員が 自由社・扶桑社版教科書を評価

「九条を改悪し普通の国の軍隊」を主張しているのが「新しい歴史教科書をつくる会」です。彼らはその目的のために「合い補う日本歴史と公民の教科書」を作り、子どもたちから教育で変えようとしています。

現在この「つくる会」は分裂し、扶桑社版と自由社版のほとんど同じ内容の2種類の歴史教科書ができ、自由社版では最初に戦争賛美の戦艦大和の特集まで組んでいます。

そして藤沢市の今回の教科書採択会議(7月24日)の冒頭で、海老根市長が任命した教育長は「自由社版」を、新教育委員は「扶桑社版」を評価する意見をのべました。

9月は更に新教育委員が決まります。次回(2011年)の教科書採択では、「藤沢市の教育現場で、九条が危ない！」状態です。

横浜市では、辞職した中田市長の下で順次教育委員が入り替えられ、「新しい歴史教科書をつくる会」系の教科書が採択されました。

＝活躍する女性の輝き＝

永田陽子さん



毎週金曜日に入るミニコミ紙でも楽しみをしています。8月7日号を広げて、「まあ素敵写真！」とびっくりしてしまいました。9条の会

で一緒に仕事をしています。よく知っている永田さんが、一段と若々しく、素敵に輝いて見えました。

今回のミニコミ紙では「平和の輪をひろげる実行委員会」に関わっての取材でしたが、彼女は今年「自主上映実行委員会」の代表も勤め、「ふじさわ・九条の会」でも事務局や世話人をなさっています。平和を守ることに関わってこのようにいろいろと仕事をなされるのは、心の中に『今自分出来ることをひとつでもやらなければ』という強い意志があるからだと、ぜひ居る私は感心して見えています。彼女には母の視点、女性の視点、そして普通の市民の視点があるのが強みです。ますますの活躍を期待します。(折原)

今年の長崎原水爆禁止 世界大会に参加して

氏原 貞子さん (西宮)

今年の長崎大会は、プラハで「核兵器のない世界」の実現をめざすオバマ米大統領発言を歓迎する各国・各代表の発言が続き、核廃絶の歴史的チャンスと大変盛り上がり勇気のわく集会でした。特に印象的なアメリカ代表の発言は「オバマ大統領は、とても頭のよい政治家ですが、一方で核抑止力論者です、このチャンスを生かして核廃絶まで追い詰められるのは、唯一、包囲する世論です。来年の核不拡散条約(NPT)再検討会議成功に向けて戦いましょう。」と世界と日本の草の根から核兵器廃絶のうねりをつくりだす決意と熱気に包まれた大会でした。

吉鶴 美智子さん (江ノ電沿線九条の会)

遺跡めぐりを終えて小高い丘の上にある旧グラバー邸に立ち寄りました。眼下に長崎港と異国情緒が感じられる家並みが広がる景色、本当にきれいな街。ほんの数時間前原爆資料館で、64年前の

「あの日」にタイムスリップして恐怖におののいていただけに格別に映りました。資料館では原爆が投下された時にあわせ、「カチ、カチ」と時計音と共に炸裂音ときのご雲。一瞬に街は廃墟となり、10万人の命が消えた地獄絵を再現してくれていました。「アメリカのオバマさんに手紙を書こう」というコーナーでは子どもの姿も多く見られました。「戦争を終わらせるために原爆投下はやむをえなかったなんてとんでもない」と、外国から訪れた人に話している語り部の方。爆心地を示す中心碑に核兵器廃絶の祈りをこめて、みなさんから託された折鶴を供えました。

戦争体験記第4集の 原稿を募集しています

前回の続きの原稿も送られて来ています。戦場の体験だけでなく、父や兄を徴兵され残された留守宅のこと、戦後の暮らしの様子、食糧難の時代等々64年前を振り返り、伝えておきたい事がある方は、是非、投稿して下さい。戦争は絶対に風化させてはなりません。九条を守る大切さを次の時代に生きる方々に伝えてゆきませんか。

字数 1500字程度

締め切り 11月10日

「わたしの大切なもの」 —平和フェスティバルのテーマソング—

ここ数年、超党派の議員さんといっしょにさまざまな平和団体が8月15日に「不戦のちかい、平和行動」を開催しています。今年は特に若者に平和の大切さを訴えようと、歌や踊りを取り入れ「平和フェスティバル」として企画。実行委員会にも若い人の参加を呼びかけたところ、これに応じてダイビングスクール「パパラギ」の若者が大活躍。センスを発揮して当日配布の統一チラシを作成したり、九条を守る歌をつくらうというときに、すばらしい歌詞を作ってくれました。

この歌詞にみんなで曲をつけ、「わたしの大切なもの」という歌が完成。平和フェスティバルのテーマソングとし、8月15日当日、藤沢合唱団の協力を得てサンパール広場で披露しました。この歌は湘南の街藤沢で生まれた九条を守る歌としてこれからもあちこちで歌い継ぎ、まさに「わたしの大切なもの—憲法九条—」をアピールするために広めていきたいと思っています。(島田)

平和フェスティバルテーマソング
「わたしの大切なもの」 作詞・作曲 実行委員会



湘南大庭九条の会が発足

9月19日、小糸市民の家で、設立総会が開かれました。「大庭」から「湘南大庭」へと発展移行する経過報告、自主的自発的な集まりとしての申し合わせと、憲法を護り暮らしに生かす学び



合いを主とする取り組み、運営メンバーの確認などをしました。そして、さっそく草の根の学習会に入り、皇民教育のもとでの式の歌や童謡と、その時代にもどろうとする教科書の現実を各自思うままに話し合いました。高齢の方々が青春の原点に立って話す姿が心に残りました。(保坂)



「江ノ電九条の会」夏の集い

2009年6月27日に、「江ノ電沿線九条の会」10回目の集まりを持ちました。土曜日の朝



10時からと出席しにくい時間帯でしたが、多くの方のご参加をいただきました。

まずは美人のお母様方の「フラダンス」、眠い目がパッチリした方が多かったのでは？

続いて「自衛隊派兵の動きとソマリア派兵」のお話は、川崎合同法律事務所の渡辺弁護士でした。日本の商船が海賊被害を避け、ソマリアを通過せず喜望峰を回ると2000万円のコスト高になる、これを国に負担させるのが自衛隊派兵。自衛艦の派遣は商船1艘あたり6000万円かかる等のお話があり、大変勉強になりました。

(江ノ電沿線九条の会 川崎典子)

秋の文化講演会

澤地久枝さんのお話

「ひとりからはじまる」

「春には体調を崩し、藤沢の皆様には大変ご迷惑をおかけしましたが、体調も回復し、秋には皆様とお会いし、お話させていただくのを楽しみにしております。」との澤地久枝さんからのメッセージも頂き、下記により秋の文化講演会を開催することに致しました。多くの皆様のご参加を。



日時 11月6日(金)

19時開演

場所 藤沢市民会館

小ホール

参加費

前売り券 500円

当日券 600円

大庭地区で

ふじさわ・九条の会

10月18日、一斉宣伝行動

私たちは「9の日行動」を中心にこれまでも、市民への宣伝行動をしてきました。しかし、国民投票法（憲法改正手続法）があので安倍内閣で成立し、来年5月から施行されることになるので「九条改正反対の声」をもっともっと広げていくために今年の全体集会（5月16日）では、これまでの宣伝行動をもう一歩前に進めることを話し合いました。その結果、「地域九条の会のみなさんと相談して地域を決め、チラシを全戸配布すること」を09年度の活動計画に取り入れました。

10月18日はその第一歩です。取り組みやすいところから始めようということで大庭の集合住宅を中心に配布することにしました。4000～5000枚のチラシを配布する予定です。みなさん、力を貸してください。藤沢市に「九条の会」があることを宣伝しましょう。

日時 10月18日 午後2時～4時

集合場所 大庭市民センター前広場

ふじさわ・九条の会の旗の下に